

築上町過疎地域持続的発展計画基本目標等について

● 人口目標

町が一体となり人口減少に歯止めをかけるという意思のもと、人口の維持ラインとして令和7年度末までに18,000人を目指す。

(現況)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
築上町の人口 (年度末人口)	17,606人	17,299人				

(築上町HP人口の移り変わりより抜粋)

● 社会増減

第2期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地域資源を生かしたしごとの創出や安定した雇用の場づくりを進めるとともに子どもを産み育てやすいまちづくりを目指し、特に子育て世代の支援体制の充実を図るなど地方創生による人口減少抑制の施策に取り組む。さらに、今後のウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据えて、テレワークなど新しいスタイルの働き方による地方移住の推進や若者の修学・就業による地方への定着を図り、若者の町外流出を抑制することで、令和12年には社会増減がおおむね均衡することを目指す。

(現況)

	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
転入者数	815人	623人				
転出者数	948人	740人				
社会増減※	△133人	△117人				

(総務省:住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査・【総計】市区町村別人口、人口動態及び世帯数より抜粋)

◎社会増減とは、転入者－転出数＋その他増減※になるが、ここでは転出入の差とする。

※その他増減とは、住民基本台帳の記録漏れ又は誤記等を知った際の職権による住民票の記載、消除又は修正による増減、外国人の帰化による増、国籍喪失による減などをいいます。

- 築上町過疎地域持続的発展計画の取組状況について

- ・ 築上町過疎地域持続的発展計画に基づいて、過疎債や他に使える地方債、特定財源等を利用して事業を実施している。
- ・ 計画に記載されている実施事業実績額の事業比率
ハード8割強、ソフト事業2割弱
- ・ 主な事業実績（詳細後掲）
ソフト事業：移住・定住促進事業（空き家バンク事業）等
ハード事業：築上町立八津田小学校建設事業、道路・公共下水道整備事業等

- 有識者会議の意見

- ・ すでに18,000人を割っているのに18,000人という数値は、無理があるのではないか。
- ・ 18,000人を目指すにあたり、社会増は均衡をめざすのであれば自然増をふやすということになるが、それは難しいのではないか。
- ・ 令和4年3月に改訂された公共施設等総合管理計画の変更に伴い、築上町過疎地域持続的発展計画の変更はないのか。